

日本の、その先へ

国際日本学部

School of Japan Studies

国立大学法人

東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies



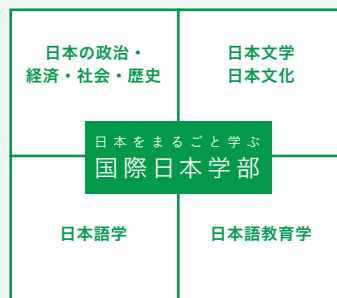
国際的な視野から日本を総合的に学び、
世界に向けて日本を発信する力や、
多文化化する日本の問題解決に資する知識や協働力を備えた人材

学びの特長

1

日本そのものをフィールドとして 分野を超えた多角的な視点で 日本を捉え直す

私たちが暮らす日本という国を、世界の中に位置付けて学ぶのが国際日本学部です。具体的には、日本の政治・経済・社会・歴史、日本文学・文化、日本語学を学びます。また、世界で日本語を教えるための知識も身に付けることができます。



2

日本人学生と留学生と一緒に学び、 英語と日本語を コミュニケーションツールとして用いる

授業では英語と日本語を用います。英語でも日本語でも、きちんとしたコミュニケーションがとれるようになることが目標です。授業の多くは英語で行われますが、日本語を書く、読む、話す力を高めるプログラムも用意されています。



3

自律性を養い、 多様な人々と協働する 課題解決型のアクティブ・ラーニング

1年次の「多文化コラボレーション」科目をはじめ、多くの授業で、問題を発見し、解決の方策を話し合い、そして解決のために行動する活動を行います。学内はもとより、地域社会に出かけて行うフィールドワークもあります。





留学体験記

歴史教育の違いを学ぶことで、 日米関係を考え直す機会になる

テキサス大学オースティン校 [米国] **長期交換留学** **1年**
2024年8月～2025年5月



吉澤 慶香
…よしざわ・けいこ
2022年4月入学
(2027年3月卒業予定)

もともと歴史解釈の違いに関心があり、日本とは違う歴史教育を体験したいと思い、留学を決めました。また、国民の考え方や歴史観の違いを知ることで、今日の日米関係についても自分なりに考え直せると思いました。実際、「原爆の歴史」の授業では、原爆を単なる倫理問題としては捉えないアメリカ人の視点を学びました。日本について詳しく知っている学生が少なかったのですが、どの国の教育も自国中心であることに、あらためて気付かされました。討論ベースの授業で身に付けた発言力や共感力は、今後も生かせる力です。

伝統と現代をつなぎ、 服の未来を切り開く挑戦

トビタテ!
留学JAPAN
を利用

アパレルブランド [カンボジア] **インターンシップ** **2カ月**
2024年8月～9月



半沢 果穂 …はんざわ・かほ
2023年4月入学
(2027年3月卒業予定)



祖母のお下がりの服に触れ、日本の縫製技術の美しさに感動したことが原点でした。「着るだけ」でなく生産の現場に関わりたと思い、伝統文化を大切に作るカンボジアのアパレルブランドでのインターンを決意。クロマー（カンボジアの伝統布）と着物を組み合わせた商品開発や、廃棄寸前の着物を活かした企画に挑戦しました。帯の新たな使い道を見出すなど、伝統を現代に生かす視点も得ました。文化省副大臣主催のパーティー参加など貴重な経験も重ね、ファッションの可能性をさらに追求したいという思いが強まりました。

卒業生インタビュー

「外から」日本を見つめ直し、 新しい価値観に出会う学び

東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士後期課程1年



米村 雪乃 …よねむら・ゆきの
(2023年3月卒業)

母語である日本語を深く学びたいと思い、国際日本学部へ進学しました。多文化的な環境で仲間と協力し、言語や価値観の違いを越えて外語祭の店を成功させた経験が、強く印象に残っています。現在は石川県七尾市の方言研究に取り組んでおり、探究心から博士後期課程への進学を決意しました。留学生と学ぶ日々が、日本での「常識」が通用しないことに気付かされます。「外から」日本を捉え直してみませんか。

日本を深く理解し、 世界へ伝える力を磨く学び

日本銀行



オング エリカ
(2024年3月卒業)

日本語だけでなく日本社会や日本語教育を幅広く学びたいと考え、国際日本学部へ進学しました。卒論ゼミで議論を重ね、母国シンガポールの歴史教科書を題材に卒論を書いた経験が、特に印象深いです。現在は日本銀行で英語翻訳と校閲を担当し、正確さとスピードの両立を意識して業務に取り組んでいます。多文化環境で多様な分野を学んだ4年間は、今の仕事を支える確かな基盤になりました。

TUFSでの出会いが 国際研究への情熱を育てた

ライプチヒ大学修士課程1年 [ドイツ]



ソフィア マツダ・デ・
ソウザ・カスカルド
(2025年3月卒業)

幼い頃から日本文化に親しみ、日本語を学び始めたことをきっかけに留学を決意し、国際性豊かな国際日本学部を選びました。国連本部へのスタディツアーで卒業生の講義に触れ、グローバルスタディーズの修士進学を志す大きな契機となりました。卒論執筆を通して研究への関心も深まり、現在は博士課程進学が国際機関での勤務を目指しています。多様な仲間と学ぶ環境は、世界市民としての視野を育ててくれました。

多様な学びが 国と国をつなぐ力を育てる場所

EY新日本有限責任監査法人 クライアントサービス本部
企業成長サポートセンター



黄 治鈞 …コウ・チキン
(2024年3月卒業)

日本と台湾をつなぐ存在になりたいと考え、国際性豊かな学びに魅力を感じて東京外国語大学を志望しました。多様なルーツをもつ仲間と議論を重ねた4年間は、視野を大きく広げてくれました。現在は米国公認会計士として外資系会計事務所での監査業務に携わり、企業の海外進出を支える仕事をしています。将来は日本と台湾の架け橋として、実務面から貢献したいと考えています。



4年間のあゆみと履修例



想定される進路

国際日本学部は、日本人学生と世界各地からの留学生と一緒に学ぶ学部です。バックグラウンドの異なる学生が学びの空間を共有し、未来に向かって歩んでいきます。共通言語は、英語と日本語。それぞれの運用能力を高め、日本を総合的に学びながら、自分の専門性を高めていきます。また、充実した短期留学プログラムや長期留学プログラムにより、学びの場は海外にもつながります。

グローバル企業、マスコミ・メディア、通訳・翻訳、観光・運輸業、国際機関、官公庁、国内外の日本語教育・日本研究機関など

1年次

導入科目で多面的に日本を学ぶと同時に、言語科目で英語力・日本語力を向上させます。「多文化コラボレーション」科目は全員が履修し、協働する手法を学びます。

2年次

概論科目で日本についての知識を深めつつ、引き続き英語力・日本語力を磨きます。「地域社会フィールドワーク」や「社会発信型プロジェクトワーク」で協働活動を進めます。

case

1

英語力を磨きつつ日本語・日本語教育を学ぶ

日本人学生

市川 尚寿

…いちかわ・なおひさ

2020年4月入学
(2024年3月卒業)

言語運用能力

英語A	英語A
専門日本語： クリティカル・リーディング1 ライティング・スキル1	専門日本語：漢文入門

リーダーシップ・協働力

多文化コラボレーション E	多文化コラボレーション E *
---------------	-----------------

専門的な知識

導入科目： 日文学基礎 E / 日本史入門 E 日本語学入門 E	導入科目： 日本社会入門 E 日文学・文化入門 E
--	---------------------------------

教職課程履修

英語B	英語B
教養外国語：中国語A	教養外国語：中国語A
専門日本語：キャリア日本語1	専門日本語：キャリア日本語2

教育支援フィールドワーク
地域社会フィールドワーク

概論科目：
日本社会分析概論
日文学・文化概論1 E
日本語学概論1

概論科目：
日文学・文化概論2
日本語学概論2 E

case

2

多言語に挑戦し日本社会を多角的に学ぶ

日本人学生

鷹嘴 亨仁

…たかのはし・なおひと

2022年4月入学
(2027年3月卒業予定)

言語運用能力

英語A	英語A
教養外国語：朝鮮語A	教養外国語：朝鮮語A
専門日本語：コミュニケーション・スキル1 ライティング・スキル1 / キャリア日本語1	専門日本語： コミュニケーション・スキル2

リーダーシップ・協働力

多文化コラボレーション E	多文化コラボレーション E *
---------------	-----------------

専門的な知識

導入科目： 日文学基礎 E / 日本史入門 E 日本語学入門 E	導入科目： 日本社会入門 E 日文学・文化入門 E
--	---------------------------------

英語B	短期留学 [夏] 延世大学へ [韓国]	英語B
教養外国語：朝鮮語A・B		教養外国語：朝鮮語A・B
専門日本語： クリティカル・リーディング1		専門日本語： クリティカル・リーディング2

地域社会フィールドワーク
教育支援フィールドワーク

概論科目：
日本社会分析概論
日本史・社会概論
日文学・文化概論1 E

概論科目：
日本外交・国際関係概論 E
日本史・社会概論 E
日文学・文化概論2

case

3

日本語を習得し日文学・文化を学ぶ

留学生

マリア アラウジョ・チニス

2022年4月入学
(2026年3月卒業)

言語運用能力

日本語初級集中	日本語総合2
---------	--------

リーダーシップ・協働力

多文化コラボレーション E	多文化コラボレーション E *
---------------	-----------------

専門的な知識

導入科目： 日文学基礎 E / 日本史入門 E 日本語学入門 E	導入科目： 日本社会入門 E 日文学・文化入門 E
--	---------------------------------

日本語総合3 日本語技能：読解3	日本語総合4
---------------------	--------

社会発信型プロジェクトワーク E

地域社会フィールドワーク

概論科目：
日文学・文化概論1 E
日文学・文化概論2 E

概論科目：
日本外交・国際関係概論 E
日本史・社会概論 E
日本語学概論2 E

🏠 交換留学が可能な英語圏の留学先（学生交流協定校）

【英国】 ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院（SOAS）、リーズ大学、マンチェスター大学、エセックス大学
 【カナダ】 プリティッシュ・コロンビア大学、レジャイナ大学 【米国】 カリフォルニア大学サンディエゴ校、ニューヨーク州立大学オルバニー校、サンディエゴ州立大学、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、ネブラスカ大学カーニー校、ハワイ大学マノア校、テキサス大学オースティン校、ジョージ・メイソン大学 【オーストラリア】 メルボルン大学 【ニュージーランド】 オークランド大学、ヴィクトリア大学ウェリントン など



サンディエゴ州立大学

3年次 専門科目（講義・演習）の履修が始まります。専門性の高い知識と研究技法を身に付けます。多くの学生が留学プログラムに参加し、学習の場は世界に広がります。

4年次 指導教員のもとで卒業研究を行います。英語で執筆する場合には日本語で長文要旨を、日本語の場合には英語で長文要旨を作成し、2言語で研究成果をまとめます。

卒業後

概論科目：日本語教育学概論1	概論科目：日本語教育学概論2
専門講義科目： 日本近現代文学1 日本語学1 日本語古典文法1 漢文学	専門講義科目： 日本近現代文学2 日本語学2 日本語学4 書道
専門演習科目： 日本文学・文化演習1 日本語学演習1 日本語学演習3 日本語教育学演習9	専門演習科目： 日本語教育学演習2 日本語教育学演習10

中学校教諭一種免許状（国語）・高等学校教諭一種免許状（国語）取得（2024年3月）
卒業研究演習：日本語教育学
卒業論文のテーマ： 「テレビ番組『NHKのど自慢』におけるインタビュー形式の談話パターンとその誘発要因—成員カテゴリーとしての「司会者」「出演者」の観点を中心に—」
PICK UP! 授業 日本語学4 社会言語学や語用論の分野で扱われる、言語変種や言語行動などの諸テーマの理解を深めることを目標とする。特に会話内の言葉やスタイルの切り替え、言語とアイデンティティの関係に注目する。

東京外国語大学
大学院へ進学
(修了後は就職)

日本語学・
日本語教育学の
専門性を生かす

専門講義科目： 多文化社会論1 E 日本政治・経済1 E 日本外交・国際関係1 E 日本史1 日本文化1 E	留学 [1年間] ランカシャー大学へ [イギリス] ダブル・ディグリープログラム  右から2番目が本人
専門演習科目： 異分野横断演習1 E 日本社会演習7 E	

4~5年次 日本社会演習9 E 卒業研究演習：日本社会 卒業論文のテーマ（仮）： 「日韓・日中ハーフのアイデンティティ構築の過程」
PICK UP! 授業 多文化社会論1 いわゆる「歴史問題」の様々な側面について学ぶ。グループディベートを通じ、与えられた立場（自分の個人的意見と異なる場合もある）から歴史問題の諸問題について論じ、批判的思考力を身に付ける。

コンサルティング
ファームに入社、
日系大手企業の
グローバル展開を支援

日本社会・政治の
専門性を生かす

日本語技能：口頭表現2	日本語技能：口頭表現3	日本語技能：文法1 日本語技能：漢字1
-------------	-------------	------------------------

英語の先生としてアルバイト

専門講義科目： 日本近現代文学1 E 日本思想史1 E / 日本政治・経済1 E	専門講義科目： 日本近現代文学2 E 日本思想史2 E / 日本政治・経済2 E	専門講義科目：日本思想史1・2 E / 日本文化1 E
専門演習科目： 異分野横断演習1 E 日本社会演習3 E	専門演習科目： 日本社会演習4 E 日本文学・文化演習8 E	卒業研究演習：日本文学
卒業論文のテーマ： “From Symbol to Subject: Ushi and the Critique of the Idealized Okinawan Woman in ‘Droplets’”		

海外の大学院進学を
目指す

日本文学・文化の
専門性を生かす

PICK UP! 授業

日本語学4 |
日本近現代文学における自然と動物の表象に着目し、分析していく。歴史性や思想性について知識を身に付け、また、さまざまな理論的アプローチを採用しながら、テキスト分析の方法を習得する。

ダブル・ディグリープログラム

国際日本学部は、イギリスのランカシャー大学と、オーストラリアのメルボルン大学との間にそれぞれダブル・ディグリープログラム (DDP) を設置しています。DDPとは、在籍している大学と留学先の大学とで、2つの学位が取得できる制度です。国際日本学部の学生は、現地へ1～1.5年間留学し、さらに双方に卒業研究を提出することで、双方の大学の学士の学位を取ることが可能です。



詳しくはWEBサイトへ



ランカシャー大学とのダブル・ディグリープログラム

プログラム概要

大学名：ランカシャー大学/ University of Lancashire
公式HP：https://www.lancashire.ac.uk/
所在地：英国 プレストン
コース：日本学研究
留学期間：1年間



メルボルン大学とのダブル・ディグリープログラム

プログラム概要

大学名：メルボルン大学/ University of Melbourne
公式HP：https://www.unimelb.edu.au/
所在地：オーストラリア メルボルン
コース：日本学研究またはアジア研究
(メルボルン大学にて履修するモジュール次第)
留学期間：1年半
授業料の追加：必要

日本語教師養成プログラム

国が認定する「認定日本語教育機関」で教えるための資格「登録日本語教員」が2024年4月に創設されました。本学は、この資格取得のための「日本語教師養成プログラム」を提供しています。

日本語教師の仕事に興味がある方は、ぜひプログラムの受講を検討してください。



詳しくはWEBサイトへ

国家資格としての「登録日本語教員」

2019年6月、「日本語教育の推進に関する法律」が公布・施行され、国内外の日本語教育が、国・地方公共団体等によって推進される枠組みができました。さらに、この法律の理念実現のため、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」（日本語教育機関認定法）が2024年4月1日より施行され、以下の二つの制度が創設されました。

1. 日本語教育機関のうち一定の要件を満たすものを文部科学大臣が認定する制度
2. 上記1. で認定された日本語教育機関の教員資格（登録日本語教員）

つまり、条件を満たした日本語教育機関が文部科学大臣に認定され、そのような機関で日本語を教えるには、「登録日本語教員」という国家資格が必要となりました。

本学が提供する養成課程

「登録日本語教員」として登録されるには、「日本語教員試験」（毎年秋実施予定、「基礎試験」と「応用試験」の2部構成）に合格し、「登録実践研修機関」が実施する「実践研修」（教育実習）を修了することが必要です。本学の日本語教師養成プログラムを修了することで、「日本語教員試験」の「基礎試験」が免除され、また、「実践研修」を修了したこととなり、「登録日本語教員」資格取得のためには「応用試験」を受験し合格すればよいこととなります。

注意

2024年4月からのプログラムは「登録日本語教員の資格取得に係る経過措置」の2ページ目の(C) (https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/pdf/93964001_03.pdf) に対応したカリキュラムです。



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

入試に関するお問い合わせ先（入試課）

- 入試情報 TEL 042-330-5179
- 入試広報イベント TEL 042-330-5158



東京外国語大学
https://www.tufts.ac.jp/

Webサイトで
最新情報を
チェック!



国際日本学部
https://www.tufts.ac.jp/education/js/